

先週末の『プレイデイ保護者会』には、皆様 お忙しい中、ご出席頂きましたこと心より御礼申し上げます。今月より いよいよ開始となりました保育料無償化の件で説明等の時間が加わりましたが、皆様のご協力により 終了までスムーズに進められ、感謝でした。給食費の集金につきましては、後日 改めまして通知させていただきますが兵庫県明石市が 開始直前に“副食費も無償化を決定”とのニュースが流れ、思わず“成田市も 便乗したらいいのにな”と テレビに向かって つぶやいてしまいました。未だに 課題もたくさん残されている現状の中でのスタートのため、しばらくの間は何かと ご不便やお手数等を おかけすることが あるかもしれませんが、市との連携、公立園とのバランスを測りながら、円滑な運営に努めて参りたいと 願っております。もし何かありましたら お問合せ頂ければ幸いです。今後共よろしくお願い致します。

さて、先日の保護者会でお話ししました“非認知能力”について、皆様から様々なご感想をお寄せ頂きましたこと、ありがとうございます。まだまだもっともお伝えしたいことが たくさんありますので、これからも 色々なかたちで 皆様と分かち合ったり 学び合ったりできるような機会を設けていきたいと考えています。幼児教育（保育）は“非認知能力”と呼ばれる 目に見えない心の教育を もともと大切にしてきました。子ども達それぞれが持つ感性や表現、想いや経験、プロセスを尊重し丁寧に寄り添ってきました。ところが いつの頃からでしょうか その方向を急激に変える早期の英才教育を強調するような大人達が増えて来ました。けれどもそれは 子ども達の“人格”ではなく、知識や記憶力、IQや偏差値等の知育能力を目に見える数値で表すことにより、その結果ばかりが重視されやすくなってしまい比較や評価の対象として捉えられがちな危険性を感じずにはいられませんでした。もちろん育ちに見合った認知能力の発達には必要ですが、乳幼児期にこそ大切なのは心をいっぱい使うことです。そして心にたくさんの感性の“ひだ”を作ることです。

心のひだは 感受性の豊かさに繋がります。感受性は この世界の生き物の中で唯一、人だけに与えられた神様からの賜物であり、人が人であるための必要な心の力です。すべては“感じる心”からです。つのぶえ保育園の保育は感じる心を育む保育です子ども達ひとりひとりが、保育者の祈りや想いを通して 命を受け生かされているその源である 目に見えない神様の存在に触れ 心を馳せることで、自分がまもられ愛されている安らぎに満たされること、友達との出会いを喜び互いの存在に気づき相手の心を想い尊重することを 日々の保育の中で大切に伝えながら育てています。そして、転ぶ（失敗する）経験が たくさん重ねられるよう あえて配慮しています転ばない歩き方を教えるのは 簡単ですが、転んじゃった（失敗しちゃった）時にあるがままを受け止め、どうしたらいいのかを考えて もう一度 頑張ってみよう子ども達が自分で立ち上がることができた経験を繰り返す味わう、その試行錯誤の時間こそを丁寧に、ひとりひとりの小さな心に寄り添っていくことに努めています。見守られている安心感の中で転ぶ経験は、子ども達にとって自分を信じる力となり、想いを理解してもらえた経験は 人の痛みを感じる温かで優しい心を築くでしょう。今年のプレイデイも間もなくですが、子ども達と保育者とのそんな微笑ましい姿がこの行事でもきっと見られることと思っています。年長組を中心にひとりひとりがその子らしく主体的に取組めるよう支えていきます。当日は早朝からとなりますが役員の方々を始め、皆様のご協力を心より感謝申し上げます。参加者全員が楽しみ心温まる時を分かち合えますよう 神様の祝福を 心からお祈りします。（石田 記）

「神は、また、人の心に 永遠を与えられた。（旧約聖書 伝道者の書 3：11）」